

## トップメッセージ



経営管理委員会会長  
久保憲雄



代表理事理事長  
菅原和則

みなさまには、平素より私ども岩手県信用農業協同組合連合会（愛称「JA岩手県信連」）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

当会の業務運営方針や平成30年度の業績および業務内容をご紹介するため、ディスクロージャー誌「JA岩手県信連の現況」を作成いたしました。ぜひご高覧いただき、当会に対するご理解を深めていただければ幸いです。

当会は昭和23年の創立以来、農業専門金融機関ならびに地域金融機関として、岩手県農業の維持・発展および地域のみなさまに食の安全と安心をお届けすることを金融面からサポートするとともに、地域のみなさまの生活向上に資するべく幅広い金融サービスの提供に努めてまいりました。

さて、平成30年度の国内景気は、設備投資や雇用環境の堅調推移を受け、緩やかな回復傾向を辿ったものの、足元の輸出や生産に弱さが見られるなど、戦後最長とされる景気拡大はピークアウト観測が強まっております。

一方、農業を取り巻く情勢においては、農業経営基盤強化促進法等の一部改正など農業関連の5法案が可決・成立し、農業の競争力強化を目的とした法律的な手当ては平成30年度で一つの区切りを迎えました。また、TPP11、日EU・EPAなど、多大な影響が予想される貿易協定の発効が相次ぎ、引き続き動向を注視していく必要があります。

こうした情勢下、当会は第17次経営3か年計画の最終年度として、JAグループおよびJAバンク自己改革に取り組んだほか、農業メインバンクおよび生活メインバンク機能の更なる発揮に向け、県内JAおよび関係機関と連携して取り組んでまいりました。

今後とも、自己改革の確実な実践により、「農家組合員の所得増大と農業生産の拡大」、「地域の活性化」、「協同（結びつき）の更なる強化」と「持続可能なJA基盤の確立・強化」に向けて、JAグループの一員として取り組んでまいりますので、なお一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月

経営管理委員会会長 久保憲雄  
代表理事理事長 菅原和則